

機械器具 01 手術台及び治療台（診療施設用機械装置）
一般医療機器 診察・処置用椅子 （JMDN コード： 16437000）

ビュンビュンチェアー

【警告】

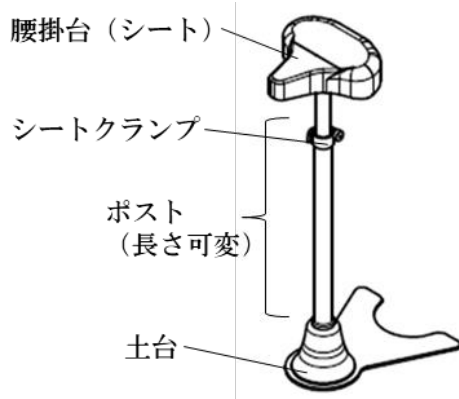
- 1) 本品の使用にあたっては、十分なトレーニングの後に使用を開始すること。本品の使用や扱いに不慣れのまま使用すると、本品を転倒させ、使用者の怪我や本品または他品を破損させる危険がある。
- 2) 本品への追加加工等を行わないこと。機器の破損や劣化、使用中の転倒などによる怪我の原因となる。

【形状、構造及び原理等】

構成・構成ユニット

本品の構成品は下記のとおりである。

- ・腰掛台（シート）
- ・シートクランプ
- ・ポスト
- ・土台



原材料

ステンレス、スチール、ポリウレタン、ポリプロピレン

作動・動作原理

本品に腰掛けることで医療従事者の進呈的負担を軽減する。シートクランプを開閉しポストの長さを伸縮させることで腰掛部（シート）の高さを調節できる。

【使用目的又は効果】

本品は、診療や処置などの際に、長時間の起立姿勢を維持しなければならない医療従事者の身体的負担を軽減するために使用する。診療や処置の合間に本品に腰掛たり、本品に腰掛ながら診療や処置をしたりする。

【使用方法等】

使用前（準備）：

1. 外観に傷やへこみ、ヒビ等の破損及び異常がないことを確認する。
2. 本品の各部にゆりみがないことを確認する。ゆりみがあった場合には工具（スパナ、六角レンチなど）を用いてしっかりと締め直す。
3. 腰掛部（シート）の高さを調節する。シートクランプを緩めて同部の高さ（ポストの長さ）をおおむね起立時の股の位置に合わせる。調節後、シートクランプを締める。
4. 腰掛部に腰を掛け体重をかけても同部がずり落ちていかないことを確認する。ずり落ちる場合には同部の高さを再調整したうえでシートクランプをしっかりと締め直す。
5. 必要に応じて腰掛台（シート）の角度を調節する。同部裏面にある固定ナットをスパナ（#13）又はレンチを用いて緩め同部の角度を調節する。調節後、固定ナットを締め直す。
6. 腰掛部に腰を掛け体重をかけても同部が動かない（角度が変わらない）ことを確認する。体重をかけることで同部の角度が変わってしまった場合には、角度を再度調節したうえで固定ボルトをしっかりと締め直す。

使用中：

診療や処置などの合間に腰掛部（シート）に腰を掛ける。あるいは本製品に腰掛ながら診療や処置をおこなう。腰掛中は少なくとも片方の足を必ず地面に設置させて転倒しないようにバランスをとりながら使用する。

使用后（清掃・消毒・片付け）：

1. 汚れがあった場合にはガーゼ等のやわらかい布で拭き取る。汚れが落ちにくい場合には、医療用で低泡性の中性洗剤を用いて拭き取る。
2. 消毒を行う際は、滅菌機器等は使用せず、消毒液を浸しよく絞ったガーゼ等で本品を軽く拭き、その後に水またはぬるま湯を浸してよく絞ったガーゼ等で消毒液を拭き取る。そのうえで乾いたガーゼや布などで水気をよく拭き取る。
3. 本品を院内の適切な場所に片付ける（保管する）。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 1) 本品の土台部は、(一般的な椅子や腰掛台と異なり) 使用者の足元部の空間を占有しないよう、前方と左右方向のデザインを小径にしてある。そのため、一般的な椅子や腰掛台に比べて前方と左右方向には転倒しやすい。腰掛中は常に足でバランスを取り転倒しないように注意すること。また、不使用時にも他の物品等をぶつけるなどして転倒させないように注意すること。
- 2) 本品の取り扱いには慎重に行い、落下や他品との衝撃などに注意すること。
- 3) 本品を乱暴、粗雑に扱わないこと。

不具合

その他の不具合

破損、変形

有害事象

その他の有害事象

転倒

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- 1) 本製品は、下記保管条件の室内で塵やほこりのない清潔な場所に保管すること。また、水気や薬品、直射日光に曝されないよう細心の注意を払うこと。
＜保管条件＞
温度：15～30℃
湿度：30～70%RH（ただし、結露状態を除く）
気圧：70～106kPa（大気圧範囲）
- 2) 本製品は保管の際、変形や損傷の原因となりうる硬い物への接触や、衝撃を避けるよう注意を払うこと。

【包装】

1 式入り／1 箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名及び名称等】

製造販売元、製造元、販売元：

平電機株式会社

〒411-0932 静岡県駿東郡長泉町南一色 632-8

TEL：055-986-9826（代表）